

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護の基本I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年生		学期及び曜時限	後期 木曜2限	教室名	401教室
担 当 教 員	萩原 恭子	実務経験と その関連資格	社会福祉士。障害者施設にて5年勤務。			
《授業科目における学習内容》						
前期、後期を通して、介護福祉の基本となる理念や、住んでいる地域を基盤とした利用者の生活の継続性を支援するための方法や仕組みを理解する。今学期では以下の2点について学ぶ。①介護福祉士の専門職としての能力や態度を身につけていく基本を学ぶ。②介護福祉士が必要とされている場面と役割と機能の基本を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
①素点 定期試験、小テスト等の得点 70% ②出席評価 20% ③平常評価 レポート、授業態度、ノート等 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
中央法規出版 介護福祉士養成講座介護の基本1。介護福祉六法						
《授業外における学習方法》						
介護福祉の現場は日々の社会の情勢に影響を受けており、社会の現在と変化を知ることが意味がある。新聞等で社会福祉に関する事項を読むことを習慣づける。その中から、興味を持った記事について、内容の簡単な紹介、考察を、学期中2回レポートで報告。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉とは一介護の成り立ち1		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	授業の目標と講義予定。介護の意味を理解する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の成り立ち2		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	戦前の社会福祉政策、戦後に、福祉三法が成立するまでの社会福祉政策を理解する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護専門職が誕生した社会的背景とは		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	専門職による介護が誕生した社会的背景を理解する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の概念の変遷1		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	老人福祉法制定後の介護に関する施策の概念を理解する。主に1970年代、1980年代の高齢者施策を概観する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の概念の変遷2		最新 介護福祉士養成講座7「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	老人福祉法制定後の介護に関する施策の概念を理解する。主に1990年代、2000年代以降の高齢者施策を概観し概念の変遷を理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉の基本概念1	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	尊厳を支える介護とはどういうことか、具体的に理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉の基本概念2	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	自立を支える介護とはどういうことか具体的に理解する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉の基本概念まとめ	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	介護福祉の基本概念を演習を通して理解を深める		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士の活動の場と役割1	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	地域や施設・在宅の場における介護福祉士の役割と機能を地域包括システム、介護予防の必要性と併せて、理解する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士の活動の場と役割2	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	新たに求められている、医療的ケア、看取り、災害時のケアの場における介護福祉士の役割と機能を理解する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士及び介護福祉士法1	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	社会福祉士及び介護福祉士法の概要を理解する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士及び介護福祉士法2	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	介護福祉士が守るべき義務規定の意味を学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士養成カリキュラムの変遷	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	社会の情勢の変化につれ、介護ニーズが変わっていき介護福祉士に求められる役割も変化していったことをカリキュラムの変遷を通して理解する。今求められる介護福祉士像を理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士を支える団体	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	介護福祉士を支える職能団体等を理解し、専門的な技術・知識を高める生涯研修の必要性を理解する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の基本1の前期まとめ	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	介護の基本1前期の復習と演習		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護の基本Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 火2限	教室名	401
担 当 教 員	上木 大雅	実務経験と その関連資格	老人保健施設にて5年勤務。介護福祉士。			
《授業科目における学習内容》						
介護全般知識を座学で学び、介護の知識を正しく理解でき、専門性を高めていくように学習する						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70% 出席20% 授業態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ(中央法規)第2版						
《授業外における学習方法》						
介護保険は理解する。福祉小六法参考						
《履修に当たっての留意点》						
社会の理解と連動している 福祉関連は法はポイントを把握し国家試験対策とする						
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	生活は「時間」「空間」「生活リズム」が相互に関連し、構成されていることを理解する。		最新 介護福祉 士養成講座4「介 護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読 んでおく。
		各コマに おける 授業予定	生活とは何かを理解する。私たちの生活を構成する重要な要素について理解する。			
第 2 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	生活は「時間」「空間」「生活リズム」が相互に関連し、構成されていることを理解する。		最新 介護福祉 士養成講座4「介 護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読 んでおく。
		各コマに おける 授業予定	生活の特性、生活のしずらさに対する支援を理解する			
第 3 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	介護福祉を必要とする人たちの暮らしを理解する		最新 介護福祉 士養成講座4「介 護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読 んでおく。
		各コマに おける 授業予定	介護福祉を必要とする人たちの多様性を理解する。介護福祉職のかかわる高齢者について知る。			
第 4 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	介護福祉を必要とする人たちの暮らしを理解する		最新 介護福祉 士養成講座4「介 護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読 んでおく。
		各コマに おける 授業予定	介護福祉職のかかわる障害者について知る。個人の暮らし、歴史を聴く場合の注意点を知る。			
第 5 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	「その人らしさ」と「生活ニーズ」について理解する		最新 介護福祉 士養成講座4「介 護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読 んでおく。
		各コマに おける 授業予定	その人らしさや、その多様性について理解する。生活ニーズや、その多様性について理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活のしずらさとその支援について理解する。	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	私たち自身、介護を必要とする人の生活のしずらさの視点について理解する。家族介護者とその支援について理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者の生活を支えるしくみを理解する。	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	地域共生社会、地域包括ケアシステムについて理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支えるフォーマルサービスについて理解する	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	高齢者・障害者を支えるフォーマルサービスを理解する。フォーマルサービスにおける介護福祉士の支援の視点を知る。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支えるインフォーマルサービスについて理解する	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	フォーマルサービスとインフォーマルサービスの関係を知る。一般的に想定されるインフォーマルサービスについて理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支える仕組み、地域連携について理解する	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	地域連携の意義と目的について学ぶ、地域福祉にかかわる組織・団体について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支える仕組み、地域連携について理解する	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	地域福祉にかかわる組織・団体について学ぶ。地域福祉のない手について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	セーフティマネジメントの考え方を理解する。安全確保を組織で取り組む重要性、安全な暮らしの支援が利用者の尊厳に結びつくことの重要性を理解する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	リスクマネジメント、ルールや約束を守ることの重要性について理解する。福祉サービスに求められる安心や安全について理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	事故防止・予防のための対策を知る。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期まとめ	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ、後期試験に向け、振り返りと対策		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名		介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時限	前期 水曜3・4	教室名	401
担 当 教 員		山西 辰子	実務経験とその関連資格	介護福祉士、実務者研修教員講習修了、主任指導者養成講習修了。福祉施設にて25年勤務。実務者研修において、介護全般、特に介護過程についての教育歴5年。			
《授業科目における学習内容》							
介護過程の必要性ならびに展開プロセスにおいてアセスメントの介護計画、実践、結果、評価、修正の流れが理解できるようになる。							
《成績評価の方法と基準》							
試験 70% 出席 20% レポート10%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
最新介護福祉士養成講座 介護過程 9 (中央法規)							
《授業外における学習方法》							
介護実習時受け持ちの利用者の情報を整理し、アセスメント、介護計画の立案ができるように、事例の展開をする。							
《履修に当たっての留意点》							
介護実習を学びの機会としていく。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメント、介護過程を理解の確認ができる。		最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認	
		各コマにおける授業予定	アセスメント、介護過程について 振り返り				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメント、介護過程を理解の確認ができる。		最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認	
		各コマにおける授業予定	アセスメント、介護過程について 振り返り				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の全体像を理解することができるようになる。		最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認	
		各コマにおける授業予定	介護過程の理解				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	個別ケアにおけるアセスメントの意義を理解する		最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認	
		各コマにおける授業予定	アセスメント				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護計画の立案の方法を理解できるようになる。		最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認	
		各コマにおける授業予定	介護計画の立案				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護計画の立案の方法を理解できるようになる。	最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認
		各コマにおける授業予定	介護計画の立案 留意点について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	実施後の記録の意義と留意点を理解することができるようになる。	最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認
		各コマにおける授業予定	介護の実施		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	実施後の記録の意義と留意点を理解することができるようになる。	最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認
		各コマにおける授業予定	介護の実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の内容と方法を理解することができるようになる。	最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認
		各コマにおける授業予定	評価		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の内容と方法を理解することができるようになる。	最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認
		各コマにおける授業予定	評価		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。	最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。	最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。	最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。	最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しようとしているのか理解することができる。	最新介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書の指定箇所の熟読と配布資料の確認
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 水曜3・4	教室名	401
担 当 教 員	山西 辰子	実務経験とその関連資格	介護福祉士、実務者研修教員講習修了、主任指導者養成講習修了。福祉施設にて25年勤務。実務者研修において、介護全般、特に介護過程についての教育歴5年。			
《授業科目における学習内容》						
他の科目で学習した知識、技術を統合して、介護展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% 授業態度、平常点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士 介護過程 9 (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
自己学習として、事例を見つけ介護計画立案していく。						
《履修に当たっての留意点》						
他科目の復習をする。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の理解の確認	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。	
		各コマにおける授業予定	前期の振り返り 事例で考える			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の理解の確認	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。	
		各コマにおける授業予定	前期の振り返り 事例で考える			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。	
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。	
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。	
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者のアセスメントを確認	最新 介護福祉士養成講座 介護過程9/配布資料	教科書と配布プリントの確認をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時限	通年 月曜1限	教室名	401
担 当 教 員		上木 大雅	実務経験と その関連資格	老人保健施設にて5年勤務。介護福祉士。			
《授業科目における学習内容》							
実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせて学べふ。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
最新介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習(中央法規出版)/実習と記録(滋慶出版)							
《授業外における学習方法》							
介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。実習と記録はタブレットを使用。							
《履修に当たっての留意点》							
実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。		実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	事後指導				
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。		実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	事後指導				
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。		実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	事後指導				
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。		実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	事後指導				
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会にて介護実習の振り返りができるようになる。		実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。	
		各コマにおける授業予定	実習報告会				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習後の学びの共有し、介護計画の振り返りができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習後の学びの共有し、介護計画の振り返りができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自己の介護観、職業観を知ることができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	発表準備をしていく。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	介護過程の流れの理解か確認できていく。	実習と記録/配布資料	配布資料を事前に読んでおく。実習先の情報や記録の練習をする。
		各コマにおける授業予定	後期まとめ 試験対策		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名		生活支援技術Ⅰ（講義）		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30（2） 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	前期 火曜2	教室名	401教室
担 当 教 員		山西 辰子	実務経験とその関連資格	介護福祉士、実務者研修教員講習修了、主任指導者養成講習修了。福祉施設にて25年勤務。実務者研修において、介護全般、特に介護過程についての教育歴5年。			
《授業科目における学習内容》							
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠にもとづいた介護実践を行うための知識・技術を学習する。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験 70％ 出席評価点 20％ 平常評価点 10％							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」 配布プリント							
《授業外における学習方法》							
生活支援技術Ⅰ・Ⅱの教科書を基本に予習・復習を行う。演習との関連もあるので併せて確認しておく。							
《履修に当たっての留意点》							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援の基本的な考え方が理解できる		最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	・生活支援について理解する ・生活の豊かさや心身の活性化のための支援について理解する				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援と介護過程の関連について理解できる		最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	・ICFの視点をもって利用者の全体像、個別性を知ることの大切さを理解する				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援におけるチームアプローチの重要性について理解できる		最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	・チームアプローチにかかわる職種とその役割、連携の方法について ・ライフステージごとにケアチームやチームアプローチは異なることを理解する				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	住まいの役割と機能について理解できる		最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	・家族・人と生活空間のかかわりについて理解し、住要求の変化に対応する住まいが求められていることを理解する				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活環境と室内環境について理解できる		最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	・室内気候の調整 ・明るさの調整 ・音環境の調整				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義形式	授業を通じての到達目標	安全に暮らすための生活環境について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・住宅内事故の現状 ・災害に対する備え		
第 7 回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者・障害者の住まいをめぐる現状について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・高齢者の住まい ・障害者の住まい ・地域と住まい		
第 8 回	講義形式	授業を通じての到達目標	居住環境の整備における多職種との連携について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	教科書の指定箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	・居住環境整備にかかわる職種とその役割について学ぶ ・事例からチームケアのあり方を具体的に学ぶ		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生活支援技術Ⅱ（講義）		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30（4） 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 木曜1限	教室名	401教室
担 当 教 員	山西 辰子	実務経験とその関連資格	介護福祉士、実務者研修教員講習修了、主任指導者養成講習修了。福祉施設にて25年勤務。実務者研修において、介護全般、特に介護過程についての教育歴5年。			
《授業科目における学習内容》						
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70％ 出席評価点 20％ 平常評価点 10％						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」/最新 介護福祉士養成講座Ⅱ7「生活支援技術Ⅱ」 中央法規						
《授業外における学習方法》						
各領域で学んだ知識と関連付けられるようにする。専門的な用語も出てくるので調べておく必要がある。						
《履修に当たっての留意点》						
専門分野「介護」の領域となる「生活支援技術」である。他科目との関連性も踏まえ学習していく。生活支援技術(技術)との関連性も重要となるので、根拠をしっかりと押さえておく必要がある。授業の事前事後の学習が重要である。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業概要について理解することができる 生活とは何か、生活支援とは何かについて理解できる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	生活支援について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立支援について理解できる。		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立に向けた移動・移乗の介護 自立した移動のあり方について理解する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の原則「安全・安楽、自立支援、個人の尊厳」に則り、利用者が安心して活動・運動するための技術の根拠が理解できる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立に向けた移動・移乗の介護:移動の基本的理解			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。 利用者の生活習慣を知り、状態を観察して、利用者に適した介護技術の展開ができる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立に向けた身じたくの介護			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	洗顔の介助/整髪 of 介助/髭の手入れ/爪の手入れ/耳の清潔の介助			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	化粧/口腔ケア/身じたくの介護における多職種との連携		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立した食事のあり方について理解する。自立に向けた食事の介護をするために介護福祉士がすべきことを理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立に向けた食事の介護/誤嚥の予防のための支援/多職種との連携		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴・清潔の目的は何か、清潔の保持が生活にどのような影響と意義を持つのかを理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立した入浴・清潔保持とは		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴・清潔保持を安全・安楽に行い、尊厳を守り、自立支援を可能にするために欠かせないアセスメントの力をつける	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	清潔保持の介助/入浴における多職種連携		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立した排泄について理解する。利用者に合った排泄の介護ができるよう、利用者を観察する視点について理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立した排泄とは		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護を必要とする利用者の心身の状況・状態に応じた適切な排泄方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	排泄方法の選択 トイレ/ポータブルトイレ/尿器・便器での排泄/おむつでの排泄や導尿の検討		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間にとって休息・睡眠がどのような意味をもつか理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	休息・睡眠とは		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のとらえ方を学び、人生の最終段階の介護の考え方と介護福祉職の役割について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階の意義と介護の役割		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階におけるアセスメントの視点が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階におけるケアがめざすもの		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期の学習内容が理解できているか確認できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	前期授業のまとめをする		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅱ(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	通年 木曜3・4限	教室名	介護実習室
担 当 教 員	山西 辰子	実務経験とその関連資格	介護福祉士、実務者研修教員講習修了、主任指導者養成講習修了。福祉施設にて25年勤務。実務者研修において、介護全般、特に介護過程についての教育歴5年。			
《授業科目における学習内容》						
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験・実技評価 70% 出席評価点(参加度) 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」中央法規						
《授業外における学習方法》						
介護技術を身に付けていく上では授業以外の時間も積極的に活用し練習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
実践の場においても生活支援技術(介護技術)は重要な科目になる。自立支援の視点、安心・安全の視点での介護技術を習得できるよう積極的に受講すること。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活支援技術の授業内容が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション(授業概要、実習室使用方法、身だしなみ等)			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスについて理解する	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	骨格や筋肉などの相互関係で起こる身体の動きのメカニズムについて学習し、利用者・介助者双方の負担を少なくする体の使い方を理解する			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	休息・睡眠環境を整える方法(ベッドメイキング等)を理解し、根拠を説明できる力を身に付ける	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	ベッドメイキング/主な姿勢について			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを応用した、利用者と介助者の身体的負担が少ない介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	起居動作(寝返り、起き上がり、立ち上がり)の介助/体位変換の介助			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	上方移動・下方移動・水平移動・スライディングシート(ボード)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	仰臥位から側臥位(対面法・背面法)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	起き上がりから端座位への介助		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	端座位から立位への介助/安楽な姿勢・体位を保持する介助の実際 側臥位における安楽な体位を保持する介助 半座位(ファーラー位)における安楽な体位を保持する介助		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	歩行の介助を行うにあたってのポイントが理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	3動作歩行・2動作歩行		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者・障がい者擬似体験をすることで高齢者・障がい者の身体的・精神的負担を知ることができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	高齢者・障がい者擬似体験をする		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	車いす介助の方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	校外にて車椅子の操作をする		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ベッドから車いすへの移乗の介助/車いすかたベッドへの移乗の介助		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	移乗全般にわたり介助が必要な利用者の介助		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	福祉用具を活用した移乗(スライディングボード・シート・移動用リフト)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	洗顔、整髪、ひげの手入れ、爪の手入れ、耳の清潔		